

事業者のみなさま

ごみの減量にご協力お願いします!

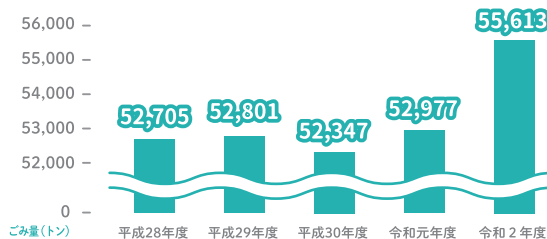


資源を有効活用し地球環境を保全するために、また、ごみの埋立処分場をできる限り長く活用するために、区民・事業者・区が一緒になって、ごみの減量に取り組んでいく必要があります。

目黒区のごみの排出量は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあり、平成30年度から増加傾向にあります。一層のごみ減量に向けて、ご協力をお願いします!



目黒区のごみの量のうつりかわり



＼ごみ減量のメリット／

ごみの減量やリサイクルの推進は、事業者のみなさんに、以下のようなメリットがあります。

01 地球環境の保全



ごみの減量等の取組を進めることにより、

- 資源保全
- 省エネルギー
- 汚染物質の削減

など、次の世代へより良い環境を引き継ぐことができます。

ごみの減量は **SDGs** 達成に向けた取組にもつながります。

エスディーゼーズ

SDGs (持続可能な開発目標) とは

令和12年(2030)年までに持続可能でよりよい世界をめざす国際目標です。環境や福祉、人権など、さまざまな分野の17のゴールが設定されています。

▼国連ホームページ

ごみの減量に関係している目標の例



02 企業イメージ向上



地球環境問題に関心が高まっているなか、事業所全体でごみの減量やリサイクルの推進をすることは、

環境に配慮しているという企業のイメージアップ

につながります。

03 コストの削減



ごみを減量することで、**ごみ処理費用を削減**することができます。

また、設備・事務用品などの節約を行うことで、**経費の節約・効率化**を図ることができます。

👉 ごみを減らすための「3R」

3Rとは、ごみを減らして資源を有効活用するためのキーワードです。
日々の事業活動で、3Rを意識しながら、できることからぜひ実践してみましょう。

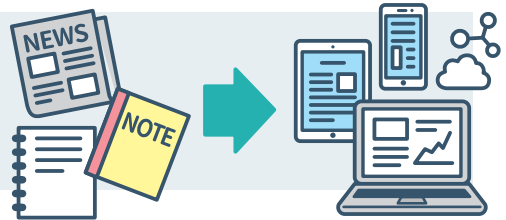
まずは

リデュース

Reduce (ごみになるものを減らす)

例えば

- ☑ 資料を電子化、共有化してペーパーレス化を図る
- ☑ 補充式の事務用品の使用を促進する
- ☑ 過剰包装を控え、簡易包装を推進する



次に

リユース

Reuse (繰り返し使用する)

例えば

- ☑ コピー用紙の両面や裏面の利用をする
- ☑ 不要な事務用品などを他部署で再利用する
- ☑ 繰り返し使用できる容器などで商品・サービスを提供する



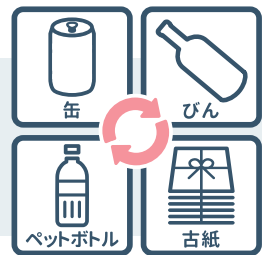
最後に

リサイクル

Recycle (もう一度資源として利用する)

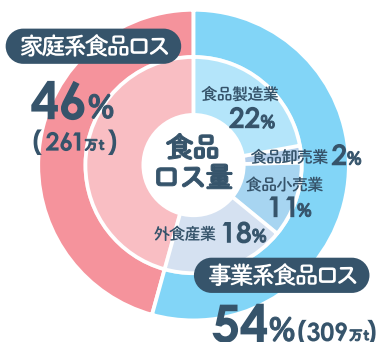
例えば

- ☑ びん・缶・ペットボトル・古紙を分別して資源回収業者へ引き渡す
- ☑ 再生用紙や再生品を積極的に利用する
- ☑ 食品の加工くずや残りは生ごみ処理機などによる堆肥化を進める



👉 減らそう! 食品ロス

日本では、本来食べられるのに捨てられる食品「食品ロス」の量は年間570万tで、そのうち事業活動に伴って発生する食品ロスが309万tとなっています。(農林水産省及び環境省「令和元年度推計値」)
食品の発注・管理の工夫や、お客様への働きかけ(小盛提供や食べきりなど)など、食品ロスの削減にご協力をお願いします。



食品ロス量
570万t

国民1人当たり食品ロス量

1日 約 124g

※ 茶碗約1杯のご飯の量に近い量

年間 約 45kg

※ 年間1人当たりの米の消費量(約53kg)に近い量

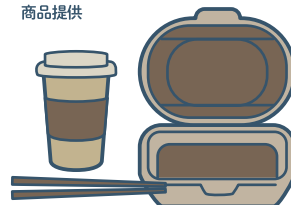
👉 減らそう! 使い捨てプラスチック

プラスチックは非常に便利な素材ですが、一方で、廃棄物処理や海洋ごみ問題、地球温暖化などの課題が深刻さを増しています。

事業活動や従業員ひとりひとりの行動を見直して、プラスチックの過剰な使用の抑制や使い捨てプラスチックの削減に向けた取組を進めていきましょう。

例えば・・・

プラスチックの代替素材
(紙・木・竹など)での
商品提供



例えば・・・

従業員のマイボトル持参

